

あづち風景づくり通信

ひと×営み×誇り

第2号

平成27年
8月24日発

安土の風景づくりを考える

Part.2

風景づくりワークショップを開催しました！



地域の魅力アップを考えよう！

近江八幡市では、安土学区自治連合会と安土学区まちづくり協議会と合同で、7月24日（金）に第2回風景づくりワークショップを開催しました。

当日は、「風景」と「景色」の概念の違いや、風景づくりの重要性について、市より講演を行った後、3班に分かれて、まち歩きで発見した風景の価値を、地域の皆さんにどのように伝えていくのかについて意見交換をしていただきました。

このワークショップは、安土城下町を中心とする地域を対象として、どのような風景を、どのようにして残していくのかについて、地元の方と行政と一緒に学び、考えていくことを目的としています。

今回のワークショップでは、いまの風景がつくれられてきた歴史的な物語・背景について多くのご意見が寄せられました。それらを地域の皆さん理解していくことで、残していく風景の価値や地域の魅力がさらに高まると考えています。

風景資源マップができました！

風景の良いところやもったいないと思うところを示した、「風景資源マップ」（下豊浦、常楽寺、上豊浦・小中）が完成しました。今後、地域の皆さんと共有し、もっと議論を重ねて、地域の誇りとなる風景を育てていきたいと考えています。



石段のある風景

コラム

百々橋付近の川へ石段を設けた町並み。この石段は、かつて田船の乗降場でした。

まちの歴史を感じることができる石段のある風景は、ずっと守っていきたいですね。



また、風景づくりを推進する区域を検討していた中で、その手段として、「風景計画を早く策定するべき。」といったご意見が多く寄せられました。

次回の開催では、今回の成果を足掛かりにして、風景計画の策定について検討していく予定です。

風景づくりを推進する区域 ~ワークショップ各班のご意見~

常楽寺の古い町並み、安土城跡の堀と石垣、下街道（朝鮮人街道）・活津彦根神社の参道・景清道沿いの町並み、庭のある農家住宅の町並み、大地の記憶を残す、原風景を構成する農地など、歴史的な風景を形成する区域のまとまりを、ゾーニング（案）として作成していただきました。



常楽寺の古い町並み



常楽寺の町並み(石垣水路)



安土城跡の堀と石垣



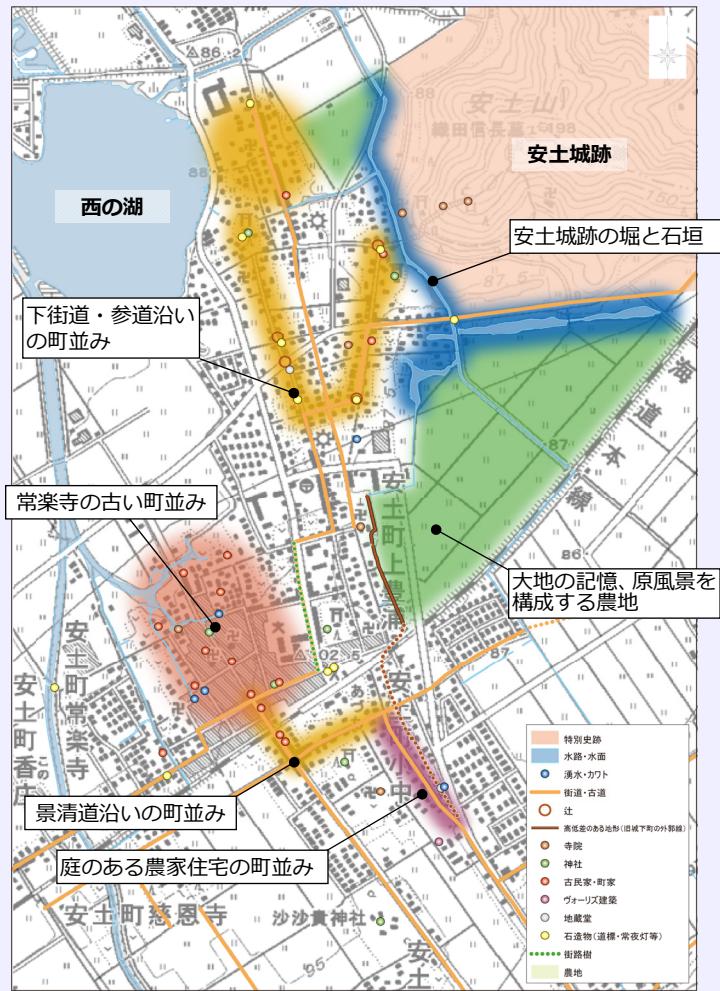
活津彦根神社の参道



庭のある農家住宅の町並み



湿地であった大地の記憶(農地)



各班の主なご意見

1班

- ・常楽寺などにある各時代の石垣は、風景をつくる大切な要素
- ・参道・古道沿いでは、自然素材を基調とした町並みとするべき
- ・安土城跡周辺の農地の保全が重要

2班

- ・見慣れた風景に価値を見出して、高さや色のルールをつくるべき
- ・旧街道・古道沿いや常楽寺では、古い建物との調和が必要
- ・空き家の対策が必要

3班

- ・上豊浦の高低差のある地形（農地）は、大地の記憶として残すべき
- ・道に面して庭のある農家住宅の佇まいを大切にすべき
- ・道が歴史を記憶している

風景づくり info

第3回ワークショップを開催します！

厳しい暑さが続いているですが、次回の風景づくりワークショップでは、有識者の講演を通じて、風景づくりに興味がある人たちのネットワークを広げていきたいと思います。

また、風景計画についても議論していただく重要な会議です。皆さんのご参加をお待ちしています。

テーマ

地域の誇りを育てるためには？

日時：平成 27 年 9 月 4 日（金） 19:00～

場所：西の湖すてーしょん（旧やすらぎホール）

風景計画とは？

地域の皆さんの理解と協力のもと、風景を生かした誇りあるまちづくりを推進するための基本となる計画です。

めざすべき風景づくりの方向性や、風景づくりのルールを定めるものです。

■風景づくりについてのお問い合わせは…

近江八幡市 都市計画課（担当：大橋、永岡、大崎）

電話：36-5510 FAX：32-5032

市の風景づくりの取組は

近江八幡市 風景づくり

検索